

ソフィアシンポジウム



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

主催：上智大学総合人間科学部社会福祉学科
後援：NPO法人 東京断酒新生会
栃木県断酒ホトギス会



アルコール依存症からの回復： アボリジニの癒しと日本の「修行」から学ぶ

登壇者（日本語通訳付き）

リチャード・チェンホール教授
メルボルン大学

ジョセリン・ジョーンズ教授
エディス・コーワン大学

ヴェネッサ・クラナ氏
ケアラ-WA



アルコール依存症からの回復過程において、依存症者の自助グループの意義は広く認識され、それぞれの文化的背景に深く根ざしたアプローチを採用しています。世界的に見て、アルコール依存症に取り組む自助グループによって、最も広く採用されている枠組みは、キリスト教の伝統に強く影響を受けた「12ステップ・プログラム」です。本シンポジウムでは、文化的な代替アプローチを探るため、オーストラリア先住民コミュニティにおけるアルコール依存症からの回復に関連する癒しの実践に焦点を当て、また日本の自助グループである「断酒会」においてみられる「修行」の要素に着目します。今回お招きした3名の講演者は、これらの分野における専門家です。本会議が、アルコール依存症からの回復における文化的アプローチの重要性に光を当てる機会となることを期待しております。

とき：2025年1月26日（日）13:00 – 17:00（開場12:30）

場所：上智大学2号館17階1702会議室

事前予約不要 [参加費無料](#)

問い合わせ先：t-oka@sophia.ac.jp（岡）

Sophia – Bringing the World Together